

所属名	事務事業名	ページ番号
秘書課	表彰事務	2
秘書課	市民べんり帳作成事業	3
秘書課	佐賀市特産物広報事業（秘書課）	4
秘書課	市政への提言	5
秘書課	広聴事業	6

令和4年度 事務事業進捗報告シート

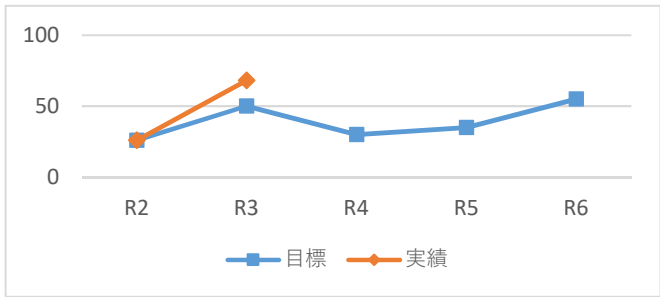
事務事業名	表彰事務	事業期間	昭和 44 ~	年度
担当部署・係名	秘書課秘書係	担当課長名		
総合計画における位置づけ	政策	互いに尊重し合い、共に創るふれあいのあるまち		
	施策	29参加と協働によるまちづくり		
	基本事業	市民活動団体への支援		

1 事務事業の基本情報

事業概要	様々な分野での功績や市民の模範となる善行の行為を称えることで、その分野の関心が高まり、受賞者やその分野に携わる者の励みとなり、今後の更なる研鑽を喚起する。 議員、職員の功績を称え、職務における今後の更なる活躍を促す。				
事業の対象者	市民等（市政に功績のある者）、議員、職員				
令和3年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・佐賀市表彰【市政功労者表彰】個人66人、1団体 ・特別表彰 個人1人 ・議会議員表彰 在職25年 1人、在職20年 2人、在職15年 2人 ・職員表彰 勤続030年以上 65人、勤続20年以上 41人 				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	2,324	3,744			
うち佐賀市の負担額	2,324	3,744			

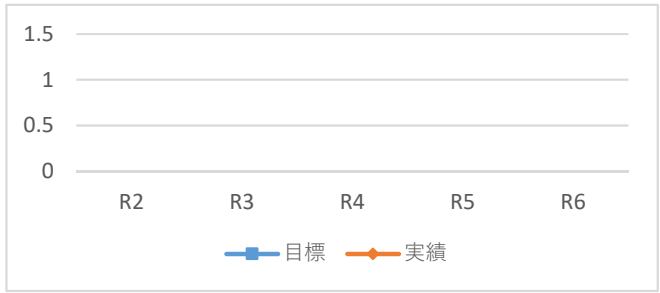
2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
佐賀市表彰者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
26	50 68	30	35	55		



年度	目標	実績
R2	50	26
R3	50	68
R4	30	30
R5	35	35
R6	55	55

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		



年度	目標	実績
R2	0.5	0.8
R3	0.5	0.8
R4	0.5	0.8
R5	0.5	0.8
R6	0.5	0.8

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	児童委員と民生委員の改選に伴い、表彰対象者が増加した。



成果目標達成に向けた対応策等
佐賀市表彰において団体推薦以外に、陰で地道に活動されている個人・団体をさらに積極的に推薦してもらうよう各課に促す。 民生委員・児童委員の改選時期に伴い、3年ごとに受賞対象者が多くなるため令和6年度の目標人数を高く設定している。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	市民べんり帳作成事業	事業期間	昭和 63 ~ 年度
担当部署・係名	秘書課 広聴係	担当課長名	大久保 雅人
総合計画における位置づけ	政策	互いに尊重し合い、共に創るふれあいのあるまち	
	施策	30情報共有の推進	
	基本事業	広報の充実	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	市民の日常生活に関わりが深い市のサービスや施策を紹介するための冊子を、3年に1度の間隔で製作し市内の全世帯に配布を行う。また、市内への転入者へ配布する。				
事業の対象者	市民				
令和3年度 主な活動実績	令和2年度に作成した市民べんり帳を転入者に配布（令和4年3月末保有数） ・市民べんり帳保有部数：6,400部 ・点字市民べんり帳保有部数：6部 ・声の市民べんり帳保有枚数：5枚				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	11,015	0			
うち佐賀市の負担額	9,888	0			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
利用者の満足度						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
62.26	65 62.26	69	72	76		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	市民にかかわりの深い行政情報を掲載した。



成果目標達成に向けた対応策等
市民にかかわりの深い行政情報を提供し、生活に必要な行政情報を常時取得しやすくすることで、市民の市役所での手続きなどを容易にする。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	佐賀市特産物広報事業（秘書課）	事業期間	平成 23 ～ 年度
担当部署・係名	秘書課秘書係	担当課長名	
総合計画における位置づけ	政策	互いに尊重し合い、共に創るふれあいのあるまち	
	施策	30情報共有の推進	
	基本事業	広報の充実	

1 事務事業の基本情報

事業概要	本市の特産品を市外の在住者に贈呈する時に、当該特産品の宣伝を行うことで、本市職員の宣伝能力の向上を図る。				
事業の対象者	市外対象者				
令和3年度 主な活動実績	特産品として登録数34品中13品目の宣伝を実施 コロナ禍のため、市外の在住者と会う機会が激減し、令和3年度はあまり宣伝を行っていない。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	179	256			
うち佐賀市の負担額	179	256			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
特産品の贈呈数						件
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
92	150 102	150	150	150		

年度	目標	実績
R2	150	92
R3	150	102
R4	150	
R5	150	
R6	150	

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

年度	目標	実績
R2	0	0
R3	0	0
R4	0	0
R5	0	0
R6	0	0

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	令和2年度と比較すると、回復はしているものの、新型コロナウイルス感染症の影響で市外との往来自体が難しい状況にあり、目標を達成できなかった。

成果目標達成に向けた対応策等
職員への事業の周知 職員の宣伝能力を高める

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	市政への提言	事業期間	平成 12 ~ 年度
担当部署・係名	秘書課 広聴係	担当課長名	大久保 雅人
総合計画における位置づけ	政策	互いに尊重し合い、共に創るふれあいのあるまち	
	施策	30情報共有の推進	
	基本事業	広聴の充実	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	【市長と語る会】市長が市内各校区に出向き、市の主要事業等の説明を行った後、市民との意見交換を行う。それにより、市民に市政への理解を深めてもらうとともに、市政に対する意見や要望を行政施策に反映させる。 【市政への提言】提言箱及び電子提言箱等に市民から提出された提言等を市政施策に反映させる。提言者が回答を希望する場合には回答を行う。また、公開希望の提言は市ＨＰで公開する。				
事業の対象者	市民等（市民、市内に通勤・通学している者、市政に関心がある者等）				
令和3年度 主な活動実績	【市長と語る会】新型コロナウイルスの感染拡大のため開催実績無。 【市政への提言】提言制度の周知のため、全ての職員出前講座の際に提言用紙の配付、及び市施設（本庁、各支所、公民館等）の47箇所に提言用紙を設置。市報で提言制度の周知を行った。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	24	81			
うち佐賀市の負担額	24	81			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
市長と語る会の参加者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
-	90 -	135	135	135		

成果指標②						単位
施策へ反映した意見数						件
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
138	339 157	347	355	364		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	新型コロナウイルスの感染拡大のため、対面による意見聴取の機会の確保が困難であった。



成果目標達成に向けた対応策等
【市長と円卓トーク】旧「市長と語る会」の開催方法を見直し、新たな形で意見聴取の機会を確保する。 【市政への提言】市報、テレビ、ラジオ等で制度の周知を行う。また、提出された意見については、早期に担当課と共有できるような事務処理を行い、市政に反映する。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	広聴事業	事業期間	平成 19 ~ 年度
担当部署・係名	秘書課 広聴係	担当課長名	大久保 雅人
総合計画における位置づけ	政策	互いに尊重し合い、共に創るふれあいのあるまち	
	施策	30情報共有の推進	
	基本事業	広聴の充実	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	【インターネット市政モニター】佐賀市ホームページ内の市政モニターシステムを使い、携帯端末やPCを活用してモニター会員にアンケートを送付し意見を求める。 【職員出前講座】市内に在住又は通勤・通学している10名以上の団体に対し、市の担当者が出向き市が行っている業務の内容等を説明する職員出前講座を実施する。				
事業の対象者	市民等（市民、市内に通勤・通学している者）				
令和3年度 主な活動実績	【インターネット市政モニター】アンケート 7回実施。 制度周知及び新規会員募集のため、市報への掲載、ラジオでの広報活動を行った。 【職員出前講座】講座テーマについて、11件の変更、5件の新規追加、1件を廃止する見直しを実施 出前講座について市報での広報を行った。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	547	569			
うち佐賀市の負担額	547	569			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
市政アンケート協力者延べ人数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
1,327	1,393 1,534	1,463	1,536	1,613		

成果指標②						単位
職員出前講座開催回数						回
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
68	72 107	76	80	84		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	【インターネット市政モニター】新規登録キャンペーンの実施、回答啓発メール等により、目標達成した。 【職員出前講座】人気講座の継続と、新規講座の開拓により目標を達成した。



成果目標達成に向けた対応策等
【インターネット市政モニター】新規モニターの募集及びアンケート実施について、市報・テレビ・ラジオ等で広報し市民への周知を行い、アンケート回答者数増に努める。 【職員出前講座】市報を活用し市民への周知を行うとともに、市民が受講したくなるような講座を増やし、実施回数増に努める。